

rTMS治療について

rTMS治療は1日約1時間、月曜日から金曜日の週に5回、4-6週間治療が続きます。その間は神経精神科病棟に入院して頂くこととなります。

薬の治療にrTMS治療を合わせた場合、30～40%の患者さまで重症度が半分程度になり、15～30%の患者さまでうつ病の症状がほぼ消失すると報告されています。



よくある質問

Q rTMS治療の副作用はありますか？

A コイルを当てる頭皮の部分の痛みや刺激痛、顔面の不快感、頸部痛・肩こり、頭痛が一時的に起きることがあります。

Q rTMS治療は入院しないと受けませんか？

A 安全に治療をすすめ、治療効果をしっかりと評価するため、入院での治療を基本とさせて頂いています。

お問合せにつきまして

患者さまからの個別のお問い合わせには対応していません。ご質問などはかかりつけの先生を通して和歌山県立医科大学附属病院神経精神科にご連絡ください。

和歌山県立医科大学附属病院
神経精神科

反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 治療のご案内



和歌山県立医科大学附属病院
神経精神科
2021年9月作成

反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 治療ってなに？

rTMSとは、コイルを頭につけて磁気的作用により脳内に電流を流し、からだに対する負担を少なく、うつ病を治療する方法です。

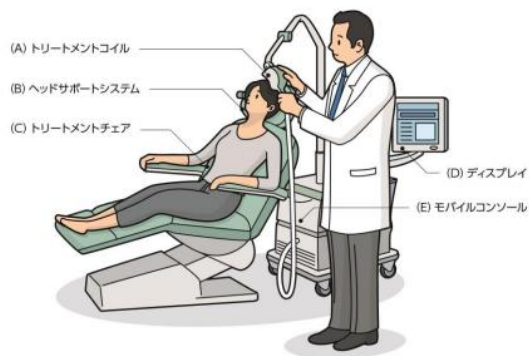


図 日本精神神経学会
反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 適正使用指針より引用
(https://www.jspn.or.jp/uploads/uploads/files/activity/Guidelines_for_appropriate_use_of_rTMS.pdf)

保険診療でのrTMS治療

わが国では2019年6月から保険診療でのrTMS治療が開始されました。

18歳以上の十分な抗うつ薬治療が奏功しない中等度のうつ病の方が治療を受けることができます。

ただし、うつ病の方でも磁気刺激部位に近接する金属や心臓ペースメーカーを有する患者さまなど、rTMS治療を受けられない条件があります。

詳細な適応については当科外来担当医にご相談ください。



rTMS治療までの流れ

rTMS治療を希望される患者さまに、当科外来での相談を行っています。当科では紹介状が必要になるため、まずはかかりつけの担当医の先生にご相談ください。

rTMS治療までの流れ

紹介状をご持参いただき、外来でのrTMS治療の相談



血液検査、頭部MRI、脳波検査



rTMS治療のご同意と
rTMS治療入院の日程調整



rTMS治療のため入院